

【種族】妖精

【能力】春が来たことを伝える程度の能力

【強さ位置】最弱グループ

【設定】

春が近づくと湧いて出る妖精。(妖々夢)

春になったことを伝えようとした手段が弾幕、普通に言葉を喋れるが、興奮してる、遠く離れてる、声が届かない、すぐに伝えたいなどのとき人間でもボディランゲージで表現して伝えようとするようなもの。(メール回答)

春になると人間の里の西側から飛んでくるのが目撃され、幻想郷中に春を伝えて、最後に妖怪の山で消息を断つ。(求聞史紀)

子供が捕まえたが、すぐに逃がしたおかげか被害はなかった(求聞史紀)

サニー達では、春のリリーの力には絶対に敵わない(三月精第2部 8話)

【能力概要】

通った後が春になる。
霊夢の推測では、春に変えるようなすごい力を持っているわけではなく、自然が本来持っている力にリリーがきっかけを与えているだけ。(三月精第2部 8話)

【各種要素をふまえての強さ議論】

「春じゃあの妖精の力には絶対に敵わないんだから」とサニーは言っている。
(そもそも春以外に目撃されていないので、春になったときだけ強くなるのかどうか不明)

妖精は異変や妖怪などの危険度に影響されて強くなる種族なので、本気の戦いの場では異変時並の強さになるかもしれない。

子供に捕まっているので、例えるなら飛行能力があって弾切れがない小火器を携帯している小学生。